

学会参加報告書

R20-094 山本萌花

学会名：日本放射線技術学会

1. 開催場所：名古屋国際会議場
2. 開催日時：2023年10月27日から2023年10月29日
3. 参加日時：2023年10月27日から2023年10月28日
4. 大会テーマ：Go into the future - 一つ先の未来へ -
5. 報告書：

就職活動や国家試験の勉強をしている際、研究テーマの発見方法や臨床で求められていることについて、知らないことが多いことに気づいた。本学会では、放射線診療や研究のトピックを知り、診療放射線技師として次年度より働く際に役立てたいため参加した。

研究発表において、新しいX線管球を用いたCT装置に関する演題が印象に残った。放射線治療で使用される電子銃を用いるため、低線量で良い画質が得られ、被ばくを低減できると報告があった。特に被ばく線量が多いCT検査では有用と考えられる。その他、陽子線治療における金属マーカーが線量分布に与える影響や計算アルゴリズムの精度の比較など、数多くの演題があった。研究には、臨床に関する知識だけでなく、データの入手、分析、比較、検討など、幅広い知識が求められることを改めて実感した。結果や考察について多面からみることで新たな研究テーマや改善点が得られ、実用化に繋がることを知った。演題後の質疑応答では、様々な質問に対して演者の方が的確に自身の見解を述べていたことが印象に残った。演者の方が研究の目的を明確にし、幅広い視点を持っているからこそ意見を正確に伝えることができると気づき、私も目的意識を持ち学び続けたいと思った。

放射線診断において、患者さんの負担軽減と最適な画質確保の両立が重要であることを学んだ。放射線診断、放射線治療、核医学のそれぞれの分野にて多くの専門家の方々がそれぞれの視点にて研究を進めることで、新たな技術が実用化されるのだと感じた。様々な角度から物事を考えられる診療放射線技師を目指す私にとって、本学会参加は非常に有用な機会となった。